

# 第30回ありのまま生活福祉講座

## ありのまま生活福祉講座とは

福祉を身近なものとして理解して頂き、共に考えていく場となることを願い1987年より毎年開催し、30回となります。当講座の座長には、前座長の故寛仁親王殿下の第一女子であられる彬子女王殿下が、第29回よりご就任下さいました。

福祉にとらわれず各方面にわたってご活躍されている方々を講師にお招きして開催しています。

## 社会福祉法人ありのまま舎とは

ありのまま舎は、「難病や障害を持つ方も持たない方も、子どもも高齢者も、誰もがあたりまえに暮らせるコミュニティづくり」を目指して、本講座をはじめ、難病や障害を持つ方々の顕彰など、様々な啓発活動を行っております。

### 座長 彬子女王殿下 (三笠宮家)



#### 演題「お米が伝える日本文化」

京都在住で、日本の文化について博士号を取得され、現在も子どもたちに日本の文化を伝える活動をされています。



### 室瀬 和美(むろせ かずみ)

#### 演題 「日本の漆文化」

漆芸家・重要無形文化財「蒔絵」保持者  
(人間国宝)

1950年東京生まれ。漆芸家だった父・春二の影響を受け、同じ道を志す。人間国宝の故・松田権六、故・田口善国両氏に師事、東京藝術大学大学院修了。在学中より開始した創作活動と共に文化財保存活動も行い、漆の美を積極的に国内外で発信する。

2008年に重要無形文化財「蒔絵」保持者(人間国宝)認定。同年、紫綬褒章受章。日本伝統工芸展にて東京都知事賞など受賞多数。現在、公益社団法人日本工芸会の副理事長も務める。

2003年から、障害者の権利条約を審議したアドホック委員会へ日本政府代表団顧問として参加。2009年より内閣府参与。2012年から2014年3月には内閣府障害者制度改革担当室長を務め、「障害者基本法の改正」「障害者総合支援法の成立」「障害者差別解消法成立」など障害者制度改革に携わる。現在は弁護士に復帰。



### 東 俊裕(ひがし としひろ)

#### 演題 「合理的配慮と災害」

弁護士・被災地障害者センター(もと)

JDF熊本支援センター事務局長・熊本学園大学教授

1953年生まれ。小児まひにより車椅子の生活でありながらも弁護士及び当事者として障害者運動に関わる。

2003年から、障害者の権利条約を審議したアドホック委員会へ日本政府代表団顧問として参加。2009年より内閣府参与。2012年から2014年3月には内閣府障害者制度改革担当室長を務め、「障害者基本法の改正」「障害者総合支援法の成立」「障害者差別解消法成立」など障害者制度改革に携わる。現在は弁護士に復帰。

**平成29年6月10日(土)13:30~16:00(開場 13:00)**

場所：**仙台市福祉プラザ ふれあいホール** (仙台市青葉区五橋2-12-2)

①福祉講座会員 会費 2,000円、入会金(初回のみ 1,000円)

②受講料 2,500円(※全席自由 ※学生割引あります)

主催：(社福)ありのまま舎・河北新報社・TBC東北放送(株) 後援(予定)：宮城県・仙台市

協賛：サントリー酒類株式会社東北支社

## お申込み・お問い合わせ / (社福)ありのまま舎

〒982-8544 仙台市太白区西多賀4-19-1 電話022-243-1300 FAX022-243-0322

HP：<http://www.arinomama.or.jp/> E-mail：[houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp](mailto:houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp)